様式2

都市再生整備計画　事後評価シート
下益見地区

平成23年3月

岐阜県瑞浪市

様式２－１　評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜県	市町村名	瑞浪市	地区名	下益見地区			面積	27.6 ha
交付期間	平成18年度～平成22年度	事後評価実施時期	平成22年度	交付対象事業費	585百万円	国費率	0.401		

1）事業の実施状況

		事業名
当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路（市道中原・益見線）、公園（下益見地区第１公園及び下益見地区第２公園及び下益見地区第３公園）、土地区画整理事業（下益見地区）
	提案事業	地域創造支援事業（水道整備）、まちづくり活動推進事業（まちづくり講演会（土岐町））

		事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
当初計画から削除した事業	基幹事業	高質空間形成施設（市道一色・益見線） 地域生活基盤施設（防災無線マスト）	市道一色・益見線：事業内容を道路改良とし、事業区分を道路とするため、高質空間形成施設から削除 防災無線マスト：区画整理地内の新設公園に設置する予定から、市域の防災の全体計画により、既存施設で本エリアがカバーされることから、計画から削除	影響なし
	提案事業	地域創造支援事業（消火栓整備）	事業区分を地域生活基盤施設とするため、地域創造支援事業から削除	影響なし
新たに追加した事業	基幹事業	道路（市道下益見3号線）、地域生活基盤施設（耐震性貯水槽）、地域生活基盤施設（消火栓整備、高質空間形成施設（遊歩道）	市道下益見3号線：高質空間形成施設の市道一色・益見線を事業区分・道路名称を変更して追加 耐震性貯水槽：区画整理事業による宅地化で商業施設や住宅が建築されることから、防災面の充実を図るため 消火栓整備：地域創造支援事業から事業区分を変更して追加 遊歩道：区画整理事業施行により増加する住民や来訪者のための整備	市道下益見3号線：影響なし 耐震性貯水槽：事業の追加により、「目標３」の市民生活の安全で潤いある環境整備に間接的な影響があると考えられるが、指標及び数値目標は据え置く 消火栓整備：影響なし 遊歩道：事業の追加により、「目標３」の市民生活の安全で潤いある環境整備に間接的な影響があると考えられるが、指標及び数値目標は据え置く
	提案事業	地域創造支援事業（遺跡発掘調査、事業効果分析調査）	遺跡発掘調査：埋蔵品の出土による発掘調査の実施のための追加 事業効果分析調査：事業評価作業の円滑化確実のために追加	遺跡発掘調査：事業の追加により、「目標２」の住居ゾーン・商業ゾーンの整備による人口増加計画に間接的な影響があると考えられるが、指標及び数値目標は据え置く 事業効果分析調査：影響なし

交付期間の変更			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	
	当　初	平成18年度～22年度		なし
	変　更	－		

2）都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況

指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み		効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
指標1	定住人口	人	620	H17	1,310	H22		642	△	あり		下益見土地区画整理事業をはじめとする基盤整備により、良好な宅地が供給され、新たな住宅立地により人口は増加しつつあるが、目標値達成には至っていない。土地区画整理事業の完了とともにビルドアップ率100%と想定した目標値の設定も達成できなかった要因の1つと考えられる。	平成23年5月
										なし	●		
指標2	交通量	台/日	130	H16	8,000	H22		5,840	△	あり		下益見土地区画整理事業をはじめ、道路・公園などの各種基盤整備により住宅や商業施設の立地が促進され、地域の賑わい創出とともに交通量は増加傾向にあるが、目標値の達成には至っていない。	平成23年9月
										なし	●		
指標3	避難地までの到達時間	分	10	H16	4	H22		4	○	あり		防災機能を持つ公園の整備により、地区内の中心部に一時的に避難する場所を確保し、土地区画整理事業により道路が整備されたため、避難地への距離が近くなり到達時間の短縮に寄与した。	－
										なし			
指標4	就労人口	人	190	H19	440	H22		579	○	あり		市道中原益見線及び下益見土地区画整理事業等の整備により、道路網の整備や宅地化など都市基盤が整備され、地区内に多くの商業施設が立地したことで就労人口の増加に繋がったと考えられる。	平成23年5月
										なし			

3）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況

指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
その他の数値指標1	地区内建築着工面積	ha	2.3	H16				8.3			下益見土地区画整理事業をはじめ、道路・公園などの各種基盤整備により良好な宅地を供給でき、住宅や商業施設の立地に繋がったと考えられる。	平成23年7月
その他の数値指標2	地区内のバス停設置数	箇所	1	H16				3			下益見土地区画整理事業をはじめ、道路・公園などの各種基盤整備により住宅や商業施設の立地が促進され、地域の集客機能が向上したことで、新たなバスルート・バス停設置に繋がったと考えられる。	－

4）定性的な効果発現状況

・土地区画整理事業による一体的な基盤整備により、地区内の狭あいな道路が解消され、消防活動が困難な区域が減少したと思われる。
・土岐川沿いの散策路の整備により、以前堤防道路を歩いていた歩行者が安全に散策できる空間が創出できたほか、桜の時期などは、地域住民の憩いの空間として利用されている。
・商業施設の立地が進んだことで、地区外からも多くの住民が商業施設に訪れており、定住人口の増加だけでなく交流人口についても増加している。
・地区内に新たにバス停が2箇所設置されたことで、誰もが気軽に地区に訪れることができるようになり、交通利便性が向上したほか、地区の賑わいが増した。また、地区内の住民においても、誰もが他の地域へ移動することができるようになるなど、生活利便性が向上した。

5）実施過程の評価

	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた		
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
住民参加プロセス	下益見地区内の第1公園、第2公園の整備内容について、地元住民とともに意見交換を重ね、整備公園の計画内容についての検討を行った。	都市再生整備計画に記載し、実施できた		今後も第1号公園、第2号公園について、委員会メンバーを中心に、地元住民が利用しやすい公園を整備していくための取り組みを継続的に行っていく。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
持続的なまちづくり体制の構築	本市の公園については、ボランティア団体や自治会等の地元組織により管理を行っている事例が多いことから、『1号公園』、『2号公園』についても同様に、「下益見公園づくり委員会」のメンバーを踏まえ、新たな管理団体を組織することを検討している。	都市再生整備計画に記載し、実施できた		里親制度の活用など、『1号公園』、『2号公園』の維持管理について、新たな管理団体の組織づくりに向けた働きかけを行っていく。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式２－２　地区の概要

下益見地区（岐阜県瑞浪市）　都市再生整備計画事業の成果概要

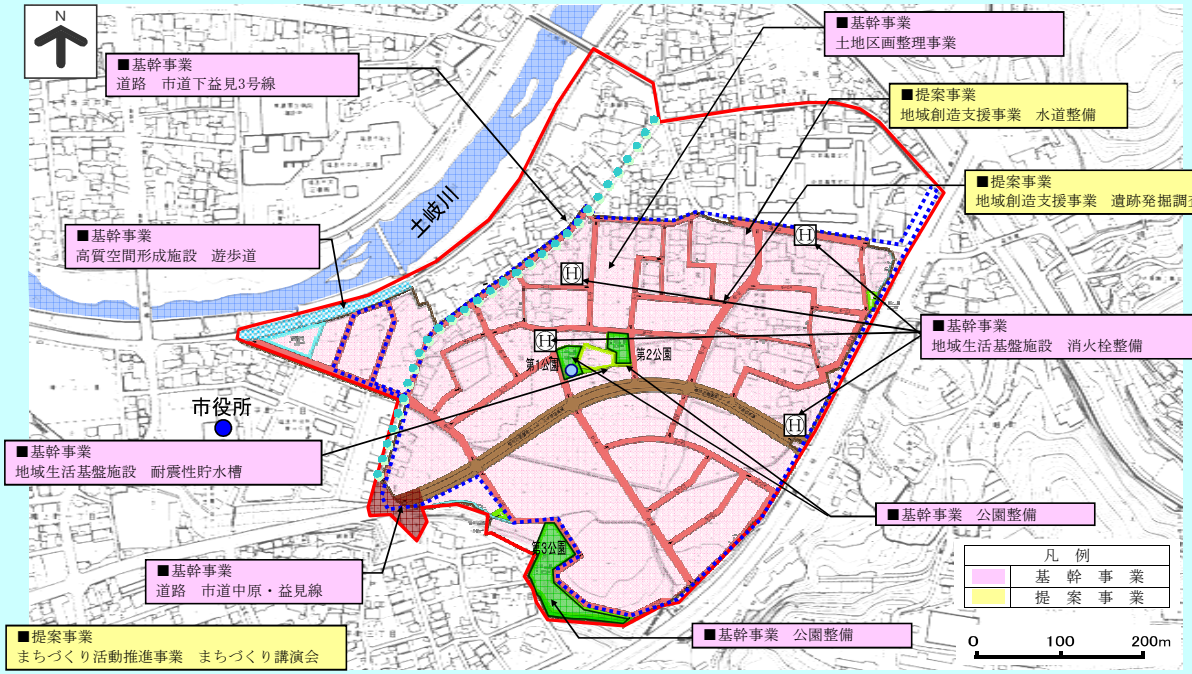
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：旧市街地の活性化と新しい活力ある産業圏づくりを目指し、魅力ある交流拠点の整備と災害に強いまちづくりの創造 ○目標１：市民の生活の拠点、商業施設を利用した活力ある賑わいのまちづくり。 ○目標２：住居ゾーン・商業ゾーンの整備による人口増加計画。 ○目標３：市民生活の安全で潤いのある環境の整備。	定住人口	単位：人	620	H17	1,310	H22	642	H22
	交通量	単位：台／日	130	H16	8,000	H22	5,840	H22
	避難地までの到達時間	単位：分	10	H16	4	H22	4	H22
	就労人口	単位：人	190	H19	440	H22	579	H22
	地区内建築着工面積	単位：ha	2.3	H16	－	－	8.3	H22
	地区内のバス停設置数	単位：箇所	1	H16	－	－	3	H22

整備概要図（第5回変更）

■下益見地区第１公園

■下益見地区第２公園

■下益見土地区画整理事業地内



■耐震性貯水槽（第１公園内）

■遊歩道

■市道中原・益見線

まちの課題の変化	・下益見土地区画整理事業をはじめとする一体的な基盤整備により、幅員が狭い道路を解消することができた。また、狭あい道路の解消により、緊急車輌が進入できない道路が減少し、地区の安全性が向上した。 ・道路事業や下益見土地区画整理事業の円滑な実施により、（都）中原益見線の整備が完了できた。 ・下益見土地区画整理地内に調整池を整備したほか、道路整備に併せ排水施設を整備し、地区の水害に対する機能が強化できた。また、災害時の一時的な避難場所として地区中心部に公園を整備したほか、耐水性貯水槽や消火栓を設置し、防災機能が強化できた。 ・下益見土地区画整理事業をはじめとする一体的な基盤整備により、地区の南側に多くの商業施設の立地が促進され、地区の生活利便性が向上した。 ・地区の東端に走る国道19号へ繋がる幹線道路を整備したことにより、地区西部からの通過交通が増加しており、地区内の交通環境の悪化が懸念されている。 ・まちの賑わいの創出や人口の増加に合わせ、安全・安心な生活環境を確保するための防犯対策が必要となっている。 ・昔からの居住者と新たな居住者との良好なコミュニティの形成に向け、地域活動の促進が必要となっている。
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	【整備した道路や公園等の適切な維持管理】 下益見土地区画整理事業により一体的に整備した道路については、施設の劣化状況を鑑み、適切な維持管理を推進する。また、整備した公園については、地域住民との協働のもと適切な維持管理を推進する。 【商業機能の維持・充実】 今後は、新たに立地した商業施設の事業者も含めて、地域住民とともに地域の美化を行い、まちに訪れた買物客などにとって居心地の良い健全で清潔なまちの景観を維持・向上する。 【防災機能の維持・充実】 調整池をはじめ、耐震性貯水槽や消火栓が災害時に有効に活用できるよう維持管理を推進するとともに、地区住民への周知を図る。また、地区に隣接する土岐川で洪水発生時における堤防の安全性を確保する。 【交通安全対策】 下益見土地区画整理事業等の実施により、国道19号へ繋がる幹線道路や生活道路など、地区の一体的な基盤整備が完了したことで、地区内交通が増加した。このような交通量増加という交通環境の変化において、地区の安全な交通環境を確保するため、交通安全対策を検討する。 【防犯機能の向上】 まちの賑わいの創出や人口の増加に対応し、地域住民の意見やニーズに応じて、防犯対策を進める。 【地域コミュニティの形成の促進】 土地区画整理事業後の既存の居住者と新たな居住者の新たなコミュニティ形成を図るとともに、「土岐地区まちづくり推進協議会」を母体とした住民主体のまちづくり活動など、コミュニティ活動の活性化を促進する。 【地域資源の活用】 酒造所、高校などの地域資源をまちの活性化に有効に活用していくため、これら地域資源を核としたイベントの継続、活性化を促進する。